



# ゆりかご 園だより



2026.6.1

5月17日の新入園家庭歓迎会の企画、運営、参加して頂いた父母のみなさま、ありがとうございました。保護者と子どもたちが、ゆりかご名物の「流しそうめん」を食べながら交流する姿をみて本当にうれしかったです。

今回歓迎されたご家庭は、来年は歓迎する側としてご参加頂き、ゆりかごの輪を広げてほしいなと思います。

今回も散歩コースの紹介をしましたが、小さい子たちは4月の頃は外に行く前の表情がどこか緊張気味だったのですが、回数を重ね、いまでは目をキラキラさせて元気よく出ていきます。大きい子たちは、春の遠足を終えて長い距離を歩くことにも自信がついたようで、少し遠い公園や北大の南のほうに行ったりして楽しんでいるようです。暖かい日差しのなか、さくらんぼぐみはベビーカー、たんぽぽぐみは散歩ワゴン、あひるぐみ以上はお友だちと手をつないで目的地を目指し、道中や目的地で見るものや聞くものを保育士や友だちと共有することはクラスの関係づくりを進める中で、なくてはならない要素であることを改めて実感しています。保護者の皆さまも、またの機会にぜひご参加頂ければと思います。

今回は、大変多くの外国家庭の参加があったことも嬉しいことの一つでした。外国家庭と日本人家庭の交流も見られ、ゆりかごらしい場面だったなと感じています。ダハムサちゃんのお父さんは「おやじの会」にも参加してくれることになりましたので、そちらのほうでも新たな交流が生まれるとよいなと思います。

あらためて思うことは、この会が新入園家庭の歓迎の場であることはもちろんなのですが、他にも多くの意味を持っているということです。各クラスの保護者同士の交流の場であり、卒園児の再会の場であり、おやじたちの活動の場でもあり、そして何より企画運営に頑張ってくれている父母の会役員の皆さまが輝く場であるということです。

歓迎会が終わった数日後、玄関ホールに一時的に置いてあった流しそうめんの竹を目にした見学の方に「これは何ですか？」と聞かれました。新歓のことや流しそうめんのことを伝えると「それだけでこの保育園の楽しさが伝わってくる感じがします」と言われました。

来年もまた新入園家庭を囲んで様々な交流が生まれるとよいですね。

